

平成26年度 事務事業評価調書（平成25年度実績分）

事務事業名	エコ・パーク宇賀管理業務				
所管部局	環境部	部局長名	黒田 直稔	予算事業名	清掃工場総務管理費
所管部署	清掃工場	所属長名	北村 邦夫	予算事業科目(平成26年度)	010403010202

1 事業の位置付け

2011 高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け					
施策の大綱	01 共生の環	施策取組方針	廃棄物の適正な処理を推進するために、排出事業者及び廃棄物処理業者に対して廃棄物処理法の遵守を徹底するとともに、不適正処理に対する指導・取締りをさらに強化します。併せて、パトロールをはじめとする監視体制を充実強化するなど、不法投棄の根絶をめざします。 また、一般廃棄物の収集処理体制及び処理施設の充実に取り組みます。		
政策	06 環境負荷の少ない循環型社会の形成				
施策	15 廃棄物の適正な処理				
2 事業の根拠・性格	法定受託事務				
法律・政令・省令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
県条例・規則・要綱等					
市条例・規則・要綱等					
その他(計画、覚書等)					

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	エコ・パーク宇賀			
意図	どのような状態にしていくのか	利用者が安全に快適に利用できるように日々の維持管理に努める。			
手段	事業実施体制等	公益社団法人高知市シルバー人材センターに業務委託する。	事業開始年度	平成19年度	
			事業終了年度	-	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	1 遊具、ベンチ、トイレの点検・清掃 2 除草・剪定・芝刈り等 3 利用状況の記録 4 その他			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A	安定的な利用者の確保(人)	過去の最大利用者を元に設定		
	B				
	C				

4 事業の実績等

			23年度	24年度	25年度	26年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	目標	56,000	61,000	61,000	61,000		
		実績	61,104	59,002	59,948			
	B	目標						
		実績						
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)	2,829	2,938	2,938	2,938		
		財源内訳	国費(千円)					
			県費(千円)					
			市債(千円)					
			その他(千円)					
			一般財源(千円)	2,829	2,938	2,938		2,938
	翌年度への繰越額(千円)							
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	0	0	0	0		
		正規職員(千円)	0	0	0	0		
		その他(千円)						
		人役数(人)						
		正規職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00		
		その他(人)						
		総コスト=①+②(千円)	2,829	2,938	2,938	2,938		
市民1人当たりコスト(円)		8	9	9				
年度末住民基本台帳人数(人)	337,875	338,397	336,845					

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

<p>ヨネッツこうちを始めエコパーク宇賀を安全に快適に利用していただくことにより、清掃工場のイメージアップにも寄与している。</p>
--

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	4.0	エコ・パーク宇賀を清掃工場見学に伴い利用している小学生を始め、多くの方に快適に利用していただくことにより、清掃工場を身近に感じてもらう環境学習の場として、また自然に触れ合う場として寄与している。 市民ニーズは利用者がほぼ一定であり、横ばい状態である。
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	B			
	B (3) 横ばいである				
	C (1) 少ない、減少している				
	D (0) ほとんどない				
事業内容の有効性	③ 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B	3.0	エコ・パーク宇賀を日々清掃・遊具施設等の管理点検を実施することにより快適で安全な環境保全を行い、開園初期の平成20年度の利用者は37,677人であったが、その後はほぼ60,000人前後の安定した利用者があり、成果指標は概ね達成している。
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
④ 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	B			
	B (3) 概ね妥当である				
	C (1) 検討の余地がある				
	D (0) 見直しが必要である				
事業実施の効率性	⑤ 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	4.0	本委託業務は軽易な内容で高齢者に適しており、短期的及び臨時的な雇用の場の確保対策として地方自治法施行令第167条の2第1項第3号の規定により、公益社団法人高知市シルバー人材センターと随意契約をしている。
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
⑥ 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	B			
	B (3) 概ね効率的にできている				
	C (1) 検討の余地がある				
	D (0) 十分可能である				
事業実施の公平性	⑦ 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	B	3.0	近隣住民の公園として利用されているほか、約200台が駐車可能な駐車場を備えていることから市内の保育園・幼稚園・小中学校等の遠足の場としての利用もあるなど公平性は保たれている。
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
⑧ 事業実施の財源として、受益者負担割合(一般財源負担割合)は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	B			
	B (3) 概ね適正な負担割合である				
	C (1) 検討の余地がある				
	D (0) 検討すべきである				
総合点	14.0	総合評価	A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			○ B 改善を検討し、事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
A 事業継続	市民の憩いの場として、今後ともコスト面に留意しながら施設機能の充実・強化を図っていく必要がある。
○ B 改善を検討し、事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--